

様式第29（第26条関係）

地下貯蔵タンク等の在庫の管理及び危険物の漏えい時の措置に関する計画届出書

稲沢市長		殿		年 月 日	
		届出者		住所	
				氏名	
				電話	
設置者	住所				
	氏名				
製造所等の別			貯蔵所又は 取扱所の区分		
設置の許可年月日 及び許可番号		年	月	日	第 号
設置場所					
在庫管理に従事する者の 職務及び組織					
在庫管理に従事する者に 対する教育					
在庫管理の方法					
危険物の漏れが確認され た場合にとるべき措置					
その他必要な事項					
※ 受付欄		※ 備考			

(注) 1 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。

2 ※印の欄は、記入しないこと。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

## 地下貯蔵タンク等の在庫の管理及び危険物の漏えい時の措置に関する計画届出書

〇〇年〇〇月〇〇日			
稲沢市長		殿	
届出者 住所 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番〇号			
氏名 〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇〇〇			
電話 〇〇〇〇 (〇〇) 〇〇〇〇			
設置者	住所	〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番〇号	
	氏名	〇〇〇株式会社 代表取締役 〇〇〇〇	
製造所等の別		取扱所	貯蔵所又は 取扱所の区分 〇〇取扱所
設置の許可年月日 及び許可番号		〇〇年 〇〇月 〇〇日	第 〇〇〇 号
設置場所		〇〇市〇〇町〇〇丁目〇番〇号	
在庫管理に従事する者の 職務及び組織		別紙のとおり	
在庫管理に従事する者に 対する教育		別紙のとおり	
在庫管理の方法		別紙のとおり	
危険物の漏れが確認され た場合にとるべき措置		別紙のとおり	
その他必要な事項			
※ 受付欄		※ 備考	

(注) 1 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。

2 ※印の欄は、記入しないこと。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

# 点検実施計画書

## 1 点検実施体制

点検実施に当たり、在庫管理に係る点検が適正に実施される体制を整えるため、責任者及び正、副の点検実施者を定めなければならない。

点検責任者 氏名 ( )	点検実施者 (正) 氏名 ( )
	点検実施者 (副) 氏名 ( )

## 2 在庫管理の対象設備

点検管理の対象設備を下記に記載する。

### ● 地下タンク

タンクNo.	油種名	容量	構造	タンクの種類
		kℓ	一重殻・二重殻	
		kℓ	一重殻・二重殻	
		kℓ	一重殻・二重殻	
		kℓ	一重殻・二重殻	
		kℓ	一重殻・二重殻	
		kℓ	一重殻・二重殻	

### ● 漏えい検査管

No. 1 ~ No. \_\_\_\_\_

合計本数：\_\_\_\_\_ 本

## 3 点検実施体制に関与する者への教育体制

点検責任者は、点検実施者に対して以下の教育を実施するものとする。

対象者	実施時期	内容
点検実施者	1回/年 点検実施者が交代した場合は、随時実施する。	(1) 点検義務等に関する基本的事項 ・点検実施計画書の意義・目的の理解 ・点検管理に関する消防法の理解 ・点検管理の対象となる設備の理解 (2) 在庫管理の点検方法及び記入方法 (3) 漏えい検査管の点検方法及び記入方法 (4) 異常時の対応 ・異常の判断基準の理解 ・異常時対応手順の理解

## 4 点検方法

- (1) 漏えい検査管による確認に加えて、危険物の貯蔵または取扱い数量の1/100以上の精度で在庫管理を行うことにより、1週間に1回以上危険物の漏れを確認する。
- (2) 漏えい検査管点検方法
  - ・専用工具またはプライヤー等を使い、蓋を開ける。
  - ・漏えい検査管内に3～5m程度の金属製巻尺または棒を挿入し、金属製巻尺等に油分が付着していないか臭いまたは目視で確認する。
- (3) 在庫管理の方法
  - ① 在庫管理を実施する際の在庫量の測定方法は、それぞれ下記の測定機器・器具を用いて行うこと。
    - 遠隔式液面計
      - ・地下タンクに内蔵された液面感知装置と屋内に設置された液面表示装置が有線または無線で遠隔通信されていることから、屋内の液面表示装置の数値を読み取り、在庫量を計測する。
      - ・計測したデータは、必要に応じプリントアウト（印刷）して確認することができる。

●タンク直上式液面計

- ・地下タンク上部に設置された液面計測器の数値を読み取り、在庫量を計測する。
- ・計測に当たっては、液面計が設置されているタンク上部マンホールを開け、液面計の数値を直接読み取る。
- ・読み取り誤差がでないように、必ず液面計の真上から計器の数値を確認すること。

●検尺棒

- ・検尺棒は、タンク容量に対して1 / 100以上の精度の目盛りが刻まれたものを使用する。

(例：10klタンクの場合は、最小目盛り100lで刻まれたものを使用する。)

- ・タンク上部マンホール内に設置されている検尺口を開け、専用の検尺棒を地下タンクの底板に当たるまで静かに挿入し、速やかに引き上げ、検尺棒に付着した油の位置を読み取り、在庫量を計測する。(なお、検尺棒の液面付近に、油に反応(変色)する薬剤を塗布して計測すると、より読み取りやすく、正確に計測できる。)
- ・ローリー荷卸し時や直後は、地下タンクの液面がゆれているので、在庫量の計測は行わない。
- ・在庫量の読み取りは、検尺棒に付着した油の位置を読み取ることとするが、付着した油の位置が目盛りと目盛りの間にある場合は、目測で目盛り間を10等分して読み取るようにする。

(例：10klタンクで、5, 100lと5, 200lの間に、付着した油の位置がある場合に、その位置がほぼ中間であれば、5, 150lと読み取る。)

- ② 在庫管理は別紙「地下貯蔵タンク在庫と漏えい検査管点検表」等に記入する。

## 5 異常の判断

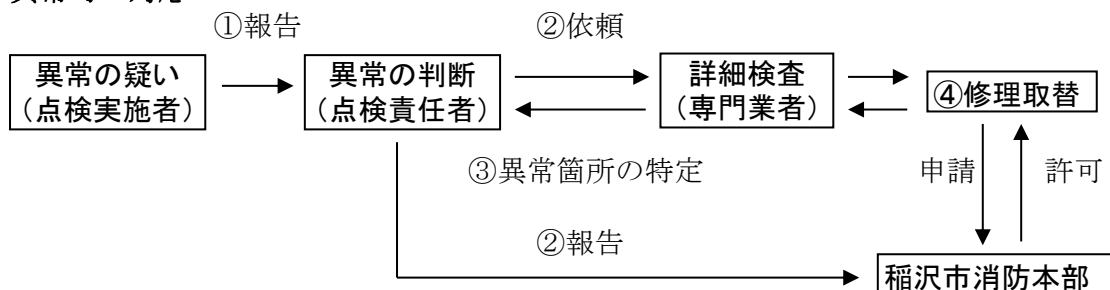
### (1) 在庫管理時の異常

週1回以上実施する在庫管理において著しい増減が発生した場合は異常と判断する。

### (2) 漏えい検査管点検時の異常

漏えい検査管から著しい油臭がするか、または挿入した金属製巻尺等に著しい油分の付着が認められた場合は異常と判断する。

## 6 異常時の対応



①点検実施者は常時「5 異常の判断」に記されている異常が疑われた場合は、速やかに点検責任者に報告する。

②報告を受けた点検責任者は、点検実施者から報告された「異常の疑い」が油漏えいによる異常であると判断された場合は、速やかに稲沢市消防本部に報告するとともに、専門業者に点検を依頼する。

③専門業者より異常の報告を受けた場合は、稲沢市消防本部と相談のうえ、適切な修理・取替を計画し、申請、許可を受け、速やかに復旧工事を実施する。



# 地下貯蔵タンク在庫と漏えい検査管点検表

( 記 載 例 )

タンクNo. ( 1 )		油種 ( ガソリン )		タンク容量 ( 9,600 ℓ )			記録責任者 ( ○○課 ○○○○ )			
○年 ○月	検査管点検	営業前の 実在庫量	ローリー からの 受入数量	計量機か らの販売 数量 ( 使 用数量 )	計 算 庫 量	営業 ( 業 務 ) 終 了 の 実 在 庫 量	本 日 の 増 減	計量機か らの販売 数量 ( 使 用数量 )	増 減 量 の 累 計	累 計 増 減 率
	異常の 有 無	A 前日のE	B	C	D A+B-C	E	F E-D	G 前日のG+C	H 前日のH+F	I (H÷G)%
1日 (月)	有 (無)	5,700		1,200	4,500	4,510	10	1,200	10	0.833
2日 (火)	有 無	4,510		1,150	3,360	3,320	-40	2,350	-30	-1.277
3日 (水)	有 無	3,320	7,000	1,020	9,300	9,350	50	3,370	20	0.593
4日 (木)	有 無	9,350		1,350	8,000	8,000	0	4,720	20	0.424
5日 (金)	有 無	8,000		1,200	6,800	6,790	-10	5,920	10	0.169
6日 (土)	有 無	6,790		1,050	5,740	5,710	-30	6,970	-20	-0.287
7日 (日)	有 無	5,710		1,000	4,710	4,730	20	7,970	0	0.000
8日 (月)	有 (無)	4,730		980	3,750	3,740	-10	8,950	-10	-0.112
9日 (火)	有 無	3,740		950	2,790	2,800	10	9,900	0	0.000
10日 (水)	有 無	2,800	6,000	1,350	7,450	7,440	-10	11,250	-10	-0.089
11日 (木)	有 無	7,440		1,340	6,100	6,140	40	12,590	30	0.238
12日 (金)	有 無	6,140		1,050	5,090	5,050	-40	13,640	-10	-0.073
13日 (土)	有 無	5,050		1,060	3,990	3,980	-10	14,700	-20	-0.136
14日 (日)	有 無	3,980		1,260	2,720	2,740	20	15,960	0	0.000
15日 (月)	有 (無)	2,740		1,330	1,410	1,400	-10	17,290	-10	-0.058
16日 (火)	有 無	1,400	7,000	1,200	7,200	7,230	30	18,490	20	0.108
17日 (水)	有 無	7,230		1,010	6,220	6,210	-10	19,500	10	0.051
18日 (木)	有 無	6,210		1,220	4,990	4,950	-40	20,720	-30	-0.145
19日 (金)	有 無	4,950		1,030	3,920	3,960	40	21,750	10	0.046
20日 (土)	有 無	3,960		1,330	2,630	2,640	10	23,080	20	0.087
21日 (日)	有 無	2,640	7,000	1,530	8,110	8,080	-30	24,610	-10	-0.041
22日 (月)	有 (無)	8,080		1,300	6,780	6,770	-10	25,910	-20	-0.077
23日 (火)	有 無	6,770		1,200	5,570	5,570	0	27,110	-20	-0.074
24日 (水)	有 無	5,570		1,060	4,510	4,480	-30	28,170	-50	-0.177
25日 (木)	有 無	4,480		1,200	3,280	3,300	20	29,370	-30	-0.102
26日 (金)	有 無	3,300		1,250	2,050	2,100	50	30,620	20	0.065
27日 (土)	有 無	2,100	7,000	990	8,110	8,100	-10	31,610	10	0.032
28日 (日)	有 無	8,100		980	7,120	7,060	-60	32,590	-50	-0.153
29日 (月)	有 (無)	7,060		1,020	6,040	6,050	10	33,610	-40	-0.119
30日 (火)	有 無	6,050		1,200	4,850	4,800	-50	34,810	-90	-0.259
31日 (水)	有 無	4,800		1,300	3,500	3,530	30	36,110	-60	-0.166
月間累計			34,000	36,110						

※各累計の数字は原則毎日計算する。1週間に1回累計の計算を行う場合には、毎週決まった曜日に行う。

<注>漏えい検査管の点検は1週間に1回以上の点検を行い記録する。